

平成29年度徘徊高齢者搜索模擬訓練の流れ

○徘徊高齢者搜索模擬訓練とは

徘徊高齢者搜索模擬訓練とは、認知症の高齢者が行方不明になったという設定のもと、【通報→連絡→搜索→発見・保護】の情報伝達から搜索・声かけまでの流れを模擬体験することで、実際に徘徊している人を見かけたときに戸惑うことなく対応できるようにするものです。

○訓練の流れ

時間	訓練内容
13:30	<ul style="list-style-type: none">あいさつ訓練の流れの説明
13:45	<ul style="list-style-type: none">地域で見守り支え合い 認知症の人がなぜ徘徊してしまうのかを理解し、徘徊している人の気持ちに寄り添った声かけや対応の方法を学びます。認知症徘徊対応寸劇 身近な人が行方不明になってから発見されるまでの流れを学びます。
14:20	<ul style="list-style-type: none">グループに分かれて、担当エリアを搜索 (グループ1・2・3→Aエリア(形原2区) グループ4・5・6→Bエリア(形原3区北側) グループ7・8・9→Cエリア(形原3区南側))徘徊者役の方が各エリア1名ずつ実際に徘徊します。徘徊者役の人を発見したら積極的に声をかけてみましょう。徘徊者役には追尾係が付き添っています。発見した場合は追尾係の携帯電話を使用して仮想警察へ通報して下さい。搜索時には、追尾係より声かけ風景等の写真撮影をさせていただきます。また、搜索中にご不明な点あれば、追尾係に問い合わせてください。また追尾係から指示があった場合は従ってください。声かけ・通報後は、会場(漁協)に戻ってください。(会場では認知症高齢者の徘徊対応マニュアルのDVDを上映しておりますので、参加者の方が揃うまでそちらをご覧ください。)発見しなかった場合も15時20分までに会場(漁協)に戻ってきてください。※訓練の際は交通に十分注意してください。※その他緊急の際は、仮想警察署までご連絡下さい。
15:20	<ul style="list-style-type: none">意見交流会 参加者の方々に、訓練の感想や改善点等を意見交換します。蒲郡警察署より訓練の講評
15:55	<ul style="list-style-type: none">あいさつ
16:00	終了